

問1 関東地方の人口統計において、東京都では昼間人口が夜間人口を上回る一方で、埼玉県や千葉県、神奈川県では夜間人口の方が昼間人口よりも多くなる傾向にあります。東京都と対照的な数値を示す、これら周辺の県が果たしている役割や機能について述べた文として適切なものはどれですか。（2026年 福島公立入試 類似）

1. 住宅地としての役割が強く、都心へ通う人々の生活拠点となるベッドタウンとしての性格。 2. 昼間の労働力を確保するために、地方から多くの移住者を受け入れる工業集積地としての性格。 3. 都心へ供給する野菜や花を生産する、大規模な農業経営を中心とした農村としての性格。 4. 都心部から離れて静かに暮らしたい高齢者が集まる、限界集落としての性格。

問2 群馬県大泉町の公共施設の案内やウェブページでは、日本語や英語に加えてポルトガル語による表記が積極的に取り入れられています。このような取り組みが行われている背景として最も適切な理由はどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 町内に多く居住するブラジル人などの外国籍住民が、日常生活をより生活しやすいようにするため 2. 海外からの観光客を積極的に誘致し、地域の観光消費額を増加させるため 3. 町内の日本人が、多くの外国語に接することで国際的な語学力を向上させるため 4. 海外のIT企業を工業団地に誘致し、最先端の技術を取り入れる環境を整えるため

問3 1880年の統計において、上野国（現在の群馬県）が全国の生産高の約22パーセントを占めて第1位となり、次いで信濃国（長野県）、武蔵国（埼玉県・東京府）が上位となっていた近代日本の主要な輸出製品は何ですか。また、その製品を海外へ送るために鉄道で運んだ先の港の名前として正しい組み合わせを選びなさい。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. 生糸 — 横浜港 2. 綿織物 — 横浜港 3. 生糸 — 神戸港 4. 綿織物 — 大阪港

問4 茨城県の産業構造について、消費地との距離や土地利用の観点から説明した文として、適切な記述はどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 首都圏という巨大な消費地に近い利点を活かし、都市部周辺では食料品工業が発達している。 2. 原料の輸送コストを抑えるため、石油化学コンビナートはすべて内陸部の山間部に設置されている。 3. 県内全域で米の単作が行われているため、食料品工業のほとんどは酒造業や米粉加工に限られている。 4. 南部の工業団地は、海外への輸出を専門とするため、空港に隣接した電子部品工場のみで構成されている。

問5 関東地方の人口移動に関する資料において、埼玉県や千葉県は「昼夜間人口比率」が100を下回る傾向にあります。このような、都心部へ通勤・通学する人々の居住地としての役割が強く、昼間の人口が夜間の人口よりも少なくなる地域を指す言葉として適切なものはどれですか。（2018年 兵庫公立入試 類似）

1. ベッドタウン 2. 限界集落 3. 政令指定都市 4. ニュータウン

問6 北関東の産業の特色について述べた次の文のうち、交通網の発達と地理的条件の関係として正しいものはどれですか。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 交通網の整備によって、地価の安い内陸部に自動車などの工場が進出し、山地では高冷地の気候を利用した野菜の栽培が行われている。 2. 沿岸部の港湾を拡大させることで大規模な製鉄所や石油化学コンビナートが建設され、内陸部では伝統的な絹織物業が再興した。 3. 高速道路が開通したことで内陸部の工場は沿岸部へと移転し、空いた土地を利用して大規模な稲作が行われるようになった。 4. 鉄道網の拡充によって都市部への通勤が容易になったため、工場や農地は姿を消し、地域全体が住宅都市へと変貌した。

問7 鎌倉市に見られる「亀ヶ谷坂切通」のような「切通」が、この地域の歴史において重要な役割を果たした背景と、地形図から読み取れる特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 三方を山に囲まれた鎌倉の防衛機能を保ちつつ、外部との交通を確保するために山を削って造られたため、道の中央で標高が最も高くなる。 2. 海沿いの平坦な土地を拡大するための埋め立て資材を採掘した跡地を道として利用したため、周辺の住宅地よりも標高が低くなっている。 3. 大規模な耕作地を確保するために山の斜面を階段状に削って造られたため、出発地点から到着地点まで標高が階段状に変化する。 4. 敵の侵入を遅らせるために複雑な迷路状の堀として造られたため、断面図で見ると等高線が一点に集中し、全区間で標高差がない。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 住宅地としての役割が強く、都心へ通う人々の生活拠点となるベッドタウンとしての性格。	東京都の周辺にある県は、都心部へのアクセスが良い場所に大規模な住宅団地やニュータウンが整備されてきました。多くの住民が昼間は東京都内の職場や学校へ向かうため、地域内の昼間人口は減少します。このように、都市の周辺にあって主に居住の役割を担う地域は「ベッドタウン」と呼ばれ、夜間人口が昼間人口を上回るのが特徴です。
問2	答え 1 町内に多く居住するブラジル人などの外国籍住民が、日常生活をより生活しやすいようにするため	群馬県の大泉町は製造業の工場が多く、1990年の出入国管理法の改正以降、労働力として来日したブラジル人などの外国籍住民が多く居住しています。行政がポルトガル語を併記するのは、観光客の誘致ではなく、地域住民として定住している外国人が行政サービスや生活情報を得やすくし、共に暮らす「多文化共生」を実現することが目的です。
問3	答え 1 生糸 — 横浜港	明治時代の日本において、生糸は最大の輸出アイテムでした。統計にある通り、現在の群馬県にあたる上野国は全国一の生産量を誇る産地であり、内陸部で生産されたこれらの製品は、鉄道（現在の高崎線など）を利用して東京を経由し、当時の主要な輸出拠点であった横浜港へと運ばれました。選択肢にある綿織物は、明治初期にはまだ輸入が多かった製品です。
問4	答え 1 首都圏という巨大な消費地に近い利点を活かし、都市部周辺では食料品工業が発達している。	茨城県は首都圏の一角に位置しており、人口の多い消費地に近いという地理的メリットがあります。そのため、鮮度や配送スピードが求められる食料品工業が都市部を中心に発達しました。また、食料品工業は県内で生産される農産物を原材料として活用する場合もあり、農業と工業が密接に関わっている点も特徴です。
問5	答え 1 ベッドタウン	昼夜間人口比率が100を下回る地域は、その地域に住んでいる人が昼間に他の地域（主に都心部）へ働きに出ていることを意味します。関東地方では東京都の比率が高い一方で、住宅面積の確保がしやすく都心へのアクセスが良い埼玉県、千葉県、神奈川県の一部などが、通勤者の居住地であるベッドタウンとしての性格を強めています。
問6	答え 1 交通網の整備によって、地価の安い内陸部に自動車などの工場が進出し、山地では高冷地の気候を利用した野菜の栽培が行われている	北関東工業地域は、高速道路のインターチェンジ付近に工業団地が形成されているのが特徴で、特に自動車工業などの機械工業が盛んです。農業においても、交通網の整備は重要であり、嬬恋村などに代表される標高の高い「高冷地」で夏に生産される高原野菜を、トラック輸送で首都圏へ迅速に出荷する体制が整えられています。港湾施設の拡大は、京浜工業地帯や鹿島臨海工業地帯などの沿岸部の特徴であるため、内陸部を中心とした設問の文脈には適しません。
問7	答え 1 三方を山に囲まれた鎌倉の防衛機能を保ちつつ、外部との交通を確保するために山を削って造られたため、道の中央で標高が最も高くなる。	鎌倉は北・東・西の三方を山（丘陵）に、南を海に囲まれた天然の要塞のような地形をしています。鎌倉幕府が置かれた際、軍事的な防衛力を維持しながら、物資の運搬や他地域との交流を行うために、山の尾根を切り開いて「切通」という道が作られました。地形図上では、山を越える場所を通るため、前後の地点に比べて切通の部分の標高が最も高い地点（ピーク）として表現されます。